

基本目標

郷土を担い学びあう人を育むまち

1 「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり

学校教育

(21) 幼児教育の充実

現状と課題

- 幼児期の教育は、子どもたちの生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、たくましく心豊かに育つためには、人・もの・自然と触れ合う豊かな体験を通じて、よりよい生活を営もうとする資質・能力を育成する必要があります。
- 就学前での学びを小学校での学びにつなぎ、伸ばすため、「幼・保、小、中連携」に取り組んでおり、各学校では計画的に交流活動などを行っています。
- 今後は、「幼・保、小、中連携」をさらに綿密に実施し、熊本県就学前教育振興「新肥後っ子がやきプラン」を基に、就学前教育から小学校教育へ円滑に接続する必要があります。

施策の内容

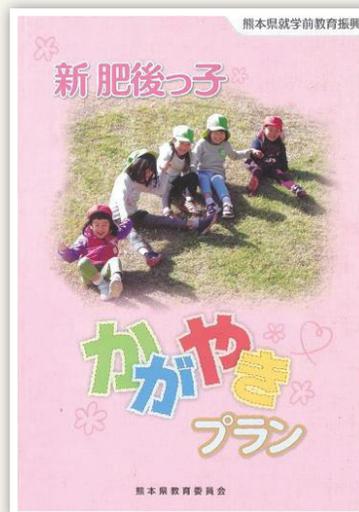
- 熊本県就学前教育振興「新肥後っ子がやきプラン」の周知を図り、幼稚園、保育所、家庭、地域が連携しながら就学前教育のさらなる充実に努めます。
- 一人一人の子どもの教育的ニーズに応じた幼児教育の推進を図り、学びの基礎を育成します。
- 子どもの発達段階や学びの連続性を考慮した幼稚園、保育所、小学校の連携カリキュラムを作成し、子ども同士の交流や職員同士の連携を行います。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画、八代市子ども・子育て支援事業計画

主な事業

学校支援職員配置事業（幼稚園）



新肥後っ子がやきプラン

(22) 学校教育の充実

現状と課題

- 学校教育においては、「生きる力」を身につけさせるために、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康・体力」のバランスのとれた教育を、家庭・地域と連携して進めています。
- いじめ・不登校の未然防止のため、県の指針に沿った早期対応を行うとともに、教育活動全体を通じた豊かな心の育成に取り組んでいます。特に、不登校児童・生徒の解消については、喫緊の課題となっています。
- 学力向上は喫緊の課題であり、授業改善による質の高い学びの実現に向けて、全市的に取り組む必要があります。
- グローバル化が進行する中、将来、国際社会で生きていくことができるよう、異文化を理解するとともに、語学力やコミュニケーション能力を育む必要があります。
- 共生社会の実現に向け、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援と必要な指導が求められています。
- 「小中一貫・連携教育」はすべての小学校、中学校において取り組んでおり、活力ある学校づくりが進められていますが、さらに充実させる必要があります。
- これからの学校図書館には、読書活動における利活用に加え、さまざまな学習・指導場面での利活用を通じて、子どもたちの育成を支える学習基盤としての役割が期待されています。
- 子どもの安全を地域全体で見守る体制の整備と、実践的な安全教育の充実が必要です。また、平成28年熊本地震を契機として、災害時に適切に対応する能力の基礎を培う防災教育の必要性も高まっています。
- 特別支援学級在籍児童生徒数が、著しく増加しており、通常学級在籍の発達障害を抱える児童生徒数も、同じように増加しています。児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じることができる高い専門性が求められています。

施策の内容

- 「小中一貫・連携教育」の取組みのさらなる充実を図るとともに、家庭・地域との連携を図りながら、学校教育全体を通して、今後子どもたちに求められる資質・能力の育成に向けて取り組みます。
- いじめ・不登校の未然防止と解消のため、子どもたちの自己肯定感を高め、認め合い支え合う集団づくりを進めるとともに、教職員への助言・支援・相談などのサポート事業の充実を図ります。
- 幼稚園、小学校、中学校における英語教育の充実を柱として、早期から段階に応じて英語に親しむ取組みの推進を図ります。
- 学びの環境づくり、分かる授業づくりに努め、学力向上を図ります。
- 学校図書館については、蔵書の整備など、魅力ある図書館づくりに取り組み、子どもたちの活発な読書活動や学習・指導場面での利活用を進めます。
- 特別な教育的配慮を要する子どもたちに必要な「合理的配慮の提供」を行うために、教職員の専門性を高める研修の充実を図るとともに、特別支援教育アドバイザーを配置するなど、特別支援教育の振興に努めます。
- 防災教育の充実や実践的な避難訓練などの実施により、自ら安全な行動がとれる子どもを育成し、学校防災マニュアルの作成・見直しを行い、地域全体の危機管理意識の向上を図ります。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画

主な事業

学校体育振興事業、小中一貫・連携教育事業、小中学生読書運動事業、いじめ対策等推進事業、学校支援職員配置事業、不登校児童生徒の適応指導事業、学校教材充実事業、語学指導外国青年招致事業、教育サポート事業、特別支援教育相談事業、教職員研修会事業、子ども支援相談事業

(23) 教職員の資質・指導力の向上

現状と課題

- 学習指導要領及び幼稚園教育要領が改訂され、幼稚園、小学校、中学校とも、育成を目指す資質・能力を、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に整理されました。これらの資質・能力を園児・児童・生徒に身につけさせるため、これまでの授業実践を活かしながら、熊本型授業の質の向上を図っています。
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、子どもたちが内容を深く理解し、資質・能力を身につけ、生涯にわたって自ら学び続ける教育の推進を図ります。
- 教職員に求められる授業力や多様な教育課題への対応力に加え、中堅教職員数の減少、新人教職員の増加など、今後進行する教職員の年齢別構成比の急速な変化に対応していく必要があります。
- 子どもと向き合う時間を確保するための校務改革が、各学校で行われているものの、教職員の業務は多岐にわたるため、十分な時間確保ができていない状況です。

施策の内容

- 学校・園訪問や校内・園内の研修を進め、教職員の資質の向上を図り、組織力、授業力、保育力の向上に努めます。
- 教職員がコンピューターやタブレット端末、電子黒板などのICT機器を活用し、子どもたちの興味を引きつけ、わかりやすい授業を行えるよう、活用能力の向上に取り組みます。
- 教育的ニーズや教職経験年数に応じた研修機会の充実を図り、教職員の段階的育成を図ります。
- 教育の今日的課題を、理論と実践の両面から調査・研究する部会を設置し、成果の蓄積・発信を行い、学校などへの還元を図ります。
- 教職員の働き方改革をさらに進め、教職員の負担軽減や長時間労働の解消を図ることで、子どもたちと向き合う時間の確保を行います。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画

主な事業

教職員研修会事業、研究部会事業、校務支援推進事業



電子黒板の教職員研修



タブレット端末の教職員研修

(24) 教育環境の整備・充実

現状と課題

- 学校のICT環境※については、タブレット端末の整備、普通教室への電子黒板及び無線LANの導入などを順次進めています。
- 学校支援職員の配置や学校規模適正化などに取り組み、教育環境の整備に努めています。
- 経済的理由などにより、就園、就学が困難な子どもたちに対する支援に取り組む必要があります。
- 学校施設は、「八代市立学校施設耐震化計画」に基づく耐震化が完了し、非構造部材の耐震化を進めています。老朽化対策や平成28年熊本地震をふまえた地域の避難所としての防災機能強化も課題です。さらに多様化する教育活動や生活様式の変化などの社会的要請、地球温暖化などの自然的要因に応じた教育環境の質的向上が求められています。
- 学校給食調理場の多くは老朽化が進んでおり、現在の衛生管理基準に適合した施設整備が必要であることから、計画的な改修に加え、将来的な施設の再編整備が求められています。

施策の内容

- ICTを活用した協働型、双方向型の授業を拡充し、わかりやすく質の高い授業を実現するための環境整備をさらに進めます。
- 「学校規模適正化基本方針」に基づき、地域特性を考慮した、望ましい教育環境の整備を図ります。
- 経済格差などが教育格差につながらないように、就園、就学などへの支援を行い、子どもたちの教育環境の安定を図ります。
- 八代の未来を担う子どもたちの学びを地域とともに支援するため、新たな基金の創設に取り組みます。
- 学校施設の非構造部材の耐震化を継続して進めます。また、計画的な老朽化・長寿命化対策、「平成28年熊本地震 八代市復旧・復興プラン」に基づく避難所機能強化、現在の社会的要請に応じた、教室へのエアコン設置やトイレの洋式化など、教育環境の質的向上に取り組みます。
- 学校給食施設整備計画の策定に取り組み、調理場の見直しや集約・再編整備を進め、学校給食の安定的・効率的な運営に努めます。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画、八代市公共施設等総合管理計画

主な事業

パソコン教育推進事業、奨学資金貸付事業、幼稚園就園奨励費補助金事業、学校・子ども教育応援基金事業、学校給食施設管理運営事業、学校施設空調設備設置事業、学校施設非構造部材耐震化事業、学校施設整備事業

※ ICT 環境：コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを活用した学習活動の充実を図ること。

社会教育

(25) 学校・家庭・地域の協働

現状と課題

- 近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、家庭や地域の教育力の低下が見受けられます。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭、地域住民などが、それぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組む体制を構築する必要があります。
- 子どもの安全確保については、ハードとソフトの両面から検討を重ね、順次対策を講じていますが、ハード面での対策を講じることが困難な箇所が多く、多角的な安全教育・安全指導を進める必要があります。

施策の内容

- 学校・家庭・地域や各種団体などが連携して、子どもを支え合う体制づくりに努め、地域全体で子どもを育てる環境を整えます。
- 地域の実情に応じ、地域の力を活かして、子どもを育む環境を整えます。
- 子どもの安全確保については、継続した取組みを行い、ハード面だけでなくソフト面での対策も強化します。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画

主な事業

学校・家庭・地域の連携協力推進事業

(26) 青少年健全育成

現状と課題

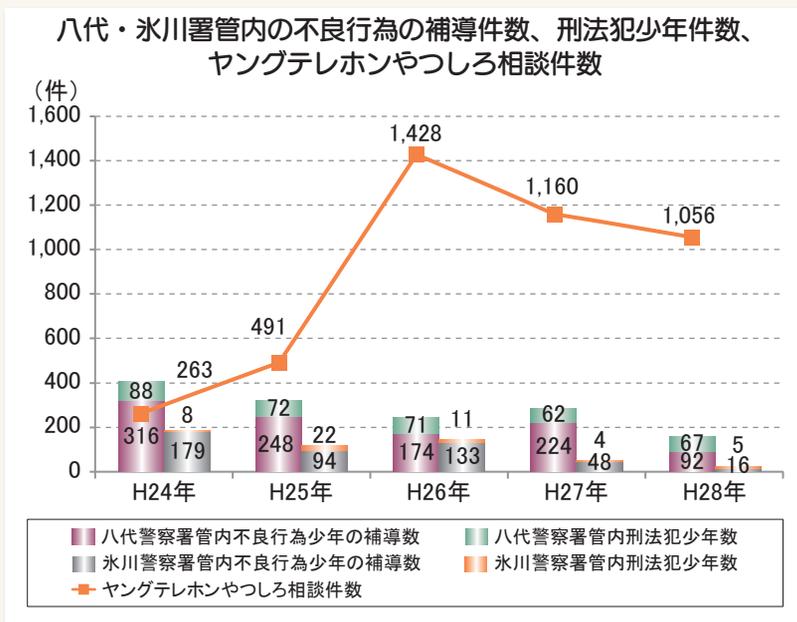
- スマートフォンやSNSなどの普及により、性や薬物などに関する情報が氾濫し、ネットいじめやコミュニティサイトでの被害など、青少年*が当事者となる事件や非行が、低年齢化、広域化、潜在化してきています。
- 青少年の健全育成と安全を守るという意識が地域に広がっていますが、社会環境の変化に応じながら、関係団体、警察、地域などと情報を共有し、連携して青少年健全育成に取り組む必要があります。
- 社会環境の変化に伴い、友人や学校、家庭のことなどに悩みを持つ青少年や、子育てに悩みを持つ保護者が増え、青少年に関する相談件数は増加傾向にあります。そのため、複雑化、深刻化する相談内容に対応できるよう、相談員のスキルアップや学校、関係団体との連携強化など、相談体制の充実を図る必要があります。

施策の内容

- 八代市青少年指導員による取り組み、非行防止と地域の意識啓発を進めます。
- 青少年の健全育成とその意識啓発を図るため、関係団体と連携し、啓発活動を進めます。
- 青少年相談員による、青少年相談（ヤングテレホンやつしろ）の効果的運用を図ります。

主な事業

青少年健全育成事業



*青少年：男女の性別を問わず、概ね6歳～18歳までの年齢のもの。

2 誰もが学べる生涯学習のまちづくり

生涯学習

(27) 生涯学習施設と連携した生涯学習推進体制の整備

現状と課題

- 生涯学習を取り巻く状況は、社会環境や生活環境の変化に伴い、多種多様化し、幅広く学習できる環境が求められています。
- 社会教育団体の自主性、自発性を尊重しながら、自発的社会教育活動ができるように支援する必要があります。
- 核家族化や都市化の進行、地域社会の連帯感の希薄化、個人主義の浸透により、地域の教育力の低下が指摘されています。
- 図書館は、従来の図書館サービス以外に、読書活動につながる啓発を積極的に実施し、市民の読書活動の推進を図る必要があります。
- 博物館は、八代の歴史と文化への理解と愛情を育むため、関連資料を収集・調査研究し、展示や講座活動を通じて、それらの価値を内外に発信していますが、その社会的ニーズはますます高まっています。

施策の内容

- 野外体験活動などの青少年活動を通して、豊かな感性と健全な心身の育成を図り、青少年の「生きる力」を育む取組みを進めます。
- 学習ニーズの把握を行い、市民のニーズに対応した生涯学習の場を構築します。
- 社会教育団体が主体となって、課題の解決や事業実施を行えるよう、運営を支援します。
- 図書館は、読書活動につながるような啓発を積極的に実施し、利用機会の充実を継続するとともに、地域の情報拠点としての役割が果たせるよう、市民の読書活動の推進を図ります。
- 博物館では、市民が気軽に情報を入手できる環境を整えるとともに、館内掲示物の多言語表示の検討や、学校教育との連携を強化し、さらなる施設の利活用を図ります。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画、八代市文化振興計画

主な事業

生涯学習推進事業、青少年体験活動事業、博物館特別展覧会事業、博物館展示資料調査事業、博物館常設展示事業、教育普及活動事業

(28) 社会教育施設の整備・充実

現状と課題

- 老朽化している社会教育施設は、整備・改修を計画的に実施する必要があります。
- 文化庁による重要文化財公開承認施設である博物館は、文化財関係機関と緊密に連携を図りつつ、文化財の保存にも配慮して計画的に整備を進める必要があります。

施策の内容

- 「八代市公共施設等総合管理計画」をふまえ、計画的な施設の維持管理に努め、施設の長寿命化を図ります。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画

主な事業

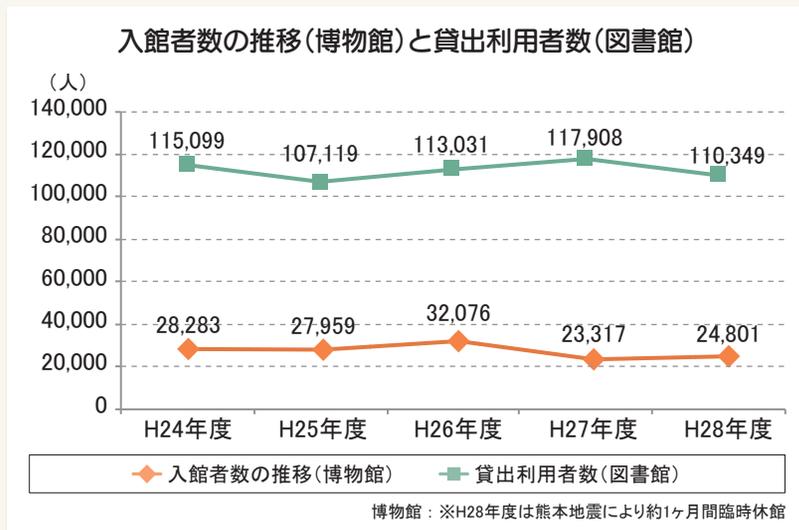
公民館施設整備事業、図書館施設整備事業、博物館施設整備事業



八代市立博物館 未来の森ミュージアム



電子図書おはなし会（図書館）



3 スポーツに親しむまちづくり

スポーツ

(29) 生涯スポーツの推進

現状と課題

- 高齢化の急激な進展や生活の利便性向上により、日常的に体を動かす機会が減少してきています。
- 年齢、性別、能力、障がいの有無に関わらず、地域住民が日常生活における健康づくり、体力づくりとして、自ら主体的にスポーツを継続して実践できる環境づくりに取り組んでいます。
- 誰もが、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するために、スポーツに親しむことができるまちづくりが必要です。

施策の内容

- スポーツに親しむきっかけづくりとして、気軽に楽しめるニュースポーツの普及に取り組みます。
- 誰もがスポーツに親しめるまちづくりを進めるため、指導者の確保に努めます。
- 関係団体と連携し、市民の健康増進と体力づくりを図るとともに、生涯スポーツの推進を図ります。

関連計画

八代市スポーツ振興計画

主な事業

スポーツ推進委員関係事業



ニュースポーツ（輪投げ）の様子

(30) 地域スポーツの推進

現状と課題

- 人口減少や高齢化の進行により、スポーツ活動の運営などが困難な地域が見受けられますが、地域住民の健康増進や住民相互の親睦・融和を目的とした、住民による自主的活動と組織運営が展開されています。
- 総合型地域スポーツクラブ※においては、子どもから高齢者まで年齢・レベルに関係なく、地域住民が主体的・自主的にさまざまなスポーツに取り組んでいます。今後は、新たな会員の加入促進と会員の定着を図るため、地域住民のニーズをふまえた魅力あるプログラムを開発・提供する必要があります。

施策の内容

- 単なるスポーツ活動や健康づくりにとどまらず、地域づくりの一環として、地域が主体的・自主的に行うスポーツ活動を進めます。
- 総合型スポーツクラブの安定した運営が可能となるよう、支援を行います。

関連計画

八代市スポーツ振興計画

主な事業

校区対抗駅伝競走事業、市民体育祭事業



校区対抗駅伝

※総合型地域スポーツクラブ：幅広い世代の人々が、各自の興味、関心、競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型スポーツ活動団体のこと。

(31) 競技スポーツの推進

現状と課題

- 関係団体と連携し、競技人口拡大や競技力向上に資する取組みを実施しています。また、大規模なスポーツ大会や合宿などを誘致することで、スポーツの振興に限らず、交流人口の拡大や地域経済の活性化に寄与しています。
- トップレベルのスポーツ大会の誘致・開催を進め、競技への関心と競技力の向上を図る必要があります。

施策の内容

- 関係団体と連携し、競技人口拡大や競技力向上に資する取組みを今後も進めます。
- スポーツ大会・合宿などの誘致・開催に努めます。

関連計画

八代市スポーツ振興計画

主な事業

トップアスリート育成事業（平成31年度まで）、県民体育祭事業、スポーツ拠点づくり推進事業、大規模スポーツ大会等誘致事業



トップアスリート強化指定選手
指定証交付式の様子



全国小学生ABCバドミントン大会の様子

(32) スポーツ施設の整備・充実

現状と課題

- 市民が身近に利用できる施設から、全国大会規模のスポーツ大会が開催可能な施設まで、さまざまなスポーツ施設の整備を進めるとともに、合理的な管理運営を行っています。

施策の内容

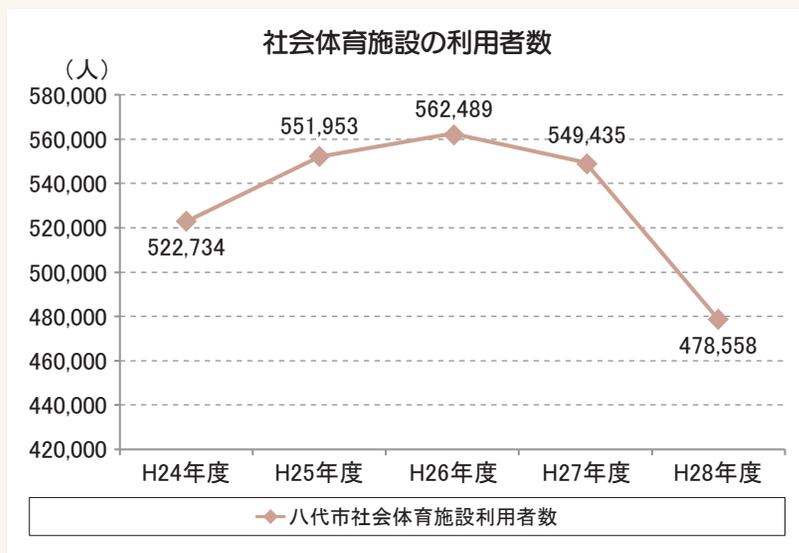
- 市民の多様なスポーツ活動を促進するため、計画的に体育施設の整備を進めるとともに、効率的・効果的な体育施設の管理運営に努めます。

関連計画

八代市スポーツ振興計画

主な事業

体育施設管理運営事業、総合体育館施設整備事業



4 郷土の文化・伝統に親しむまちづくり

文化・歴史

(33) 多様な文化財の保存・継承と活用

現状と課題

- 本市に残るさまざまな文化遺産については、「八代妙見祭の神幸行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたほか、国指定文化財が増えたことなどにより、本市の歴史と文化に対する市民の関心や期待感が高まっており、文化財保護の取組みが果たす役割は、より重要なものとなっています。
- 本市の多様な文化財を巡るルートの提案など、文化遺産を活かした地域づくりを進める必要があります。
- 地域の伝統文化財の保存継承や、文化遺産の情報発信を行うことで交流促進を図り、市民の文化財への関心や期待に応えるとともに、意識の高揚と文化財保護を図る必要があります。
- 人口減少による後継者不足が市内各地で進行する中、地域の宝である伝統芸能などの民俗文化財をどのように保存し、伝承していくかが喫緊の課題です。

施策の内容

- 「八代市歴史文化基本構想」に基づき、文化財をその周辺環境も含め総合的に保存・活用することで、文化遺産を活かした地域づくりにつながるよう、市民の参加意識を高める取組みを進めます。
- 2022年度に築城400年を迎える八代城跡を中心とする歴史・文化ゾーンの保存・活用の取組みや、関係団体との連携による文化遺産の情報発信を行い、認知度を高める取組みを進めます。
- ユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭をはじめとする市内各地の民俗文化財の保存継承と、情報発信につながる施設の整備を図り、郷土学習への有効活用や後継者の育成を図る取組みを進めます。

関連計画

八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画、八代市歴史文化基本構想

主な事業

八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）整備事業、伝統文化財保存事業、伝統文化財復元修復事業、ユネスコ無形文化遺産活用事業、指定文化財保存管理事業、市内城跡保存管理事業



ユネスコ無形文化遺産
八代妙見祭の様子

(34) 芸術・文化活動の推進

現状と課題

- 八代市文化祭は、市民の文化芸術活動の成果発表の貴重な機会であると同時に、文化芸術を鑑賞する機会となっています。今後は、八代市文化祭の参加者と鑑賞者の増加につなげるため、市民の文化芸術に対する意識の高揚を図る必要があります。
- 市民に優れた芸術文化の鑑賞と体験の場を提供することにより、個性や感性、創造性を育み、また、文化の担い手を育て、次代へと継承していく必要があります。
- 博物館では、市民の文化創生への一助となるよう、魅力ある展覧会を、今後とも継続して開催していく必要があります。

施策の内容

- 市民が創造意欲をかきたてられる魅力的なコンサートや演劇、展覧会や講演会などを積極的に開催し、八代市の文化水準の向上を目指すとともに、市民の文化芸術活動に対し、発表と鑑賞の場を提供します。
- 八代市文化祭や文化団体などが開催する自主的な文化事業を進めるとともに、文化・芸術の担い手の育成を図る取組みを進めます。
- 博物館は、文化庁による重要文化財公開承認施設※として、全国水準の文化財・芸術作品を鑑賞する機会を市民に提供します。

関連計画

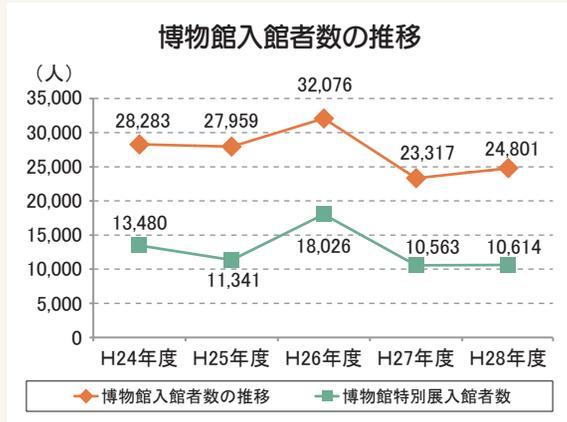
八代市教育大綱、八代市教育振興基本計画、八代市文化振興計画

主な事業

文化行事事業、文化団体助成事業、厚生会館自主文化事業、文化センター自主文化事業、博物館特別展覧会事業



八代城城郭模型と園児



※重要文化財公開承認施設：博物館や美術館などの国宝・重要文化財の所有者（管理団体を含む）以外の者が、当該文化財を公開しようとする場合、文化庁長官の許可が必要となるが、文化財の公開活用の観点から、文化財の公開に適した施設として、あらかじめ文化庁長官の承認を受けた場合、公開後の届出で足りることとされている施設。

(35) 文化施設の整備・充実

現状と課題

- 厚生会館などの文化施設は、市民の発表の場として活用されるとともに、優れた芸術文化に接する機会を提供しています。一方、多様化する市民のニーズに対応した施設の改善や、老朽化の進んだ設備を更新する必要があります。
- 民俗文化財を後世に伝えるために、後継者育成の場や諸道具を災害から守る収蔵施設を確保することが喫緊の課題となっています。

施策の内容

- 安全基準への対応や更新時期を迎えた設備の整備・改修を、計画的に行い、利用者の安全性・快適性の確保と満足度の向上を図るとともに、施設の長寿命化を図ります。
- 八代妙見祭をはじめ市内各所の無形民俗文化財の保存継承と情報発信につながる施設の整備を図ります。

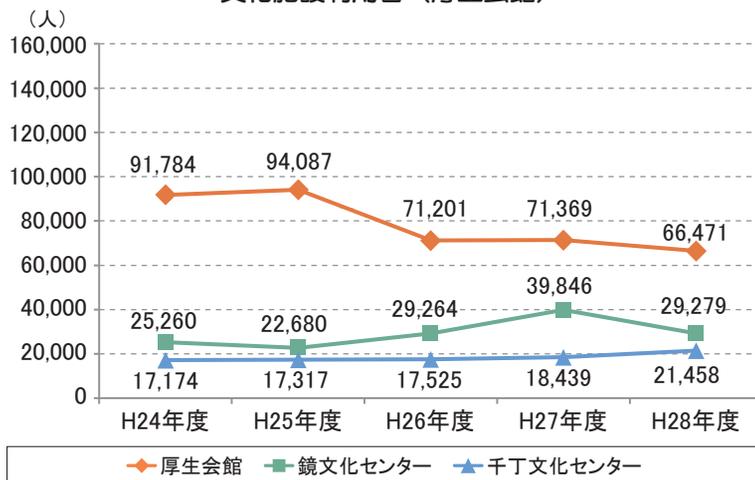
関連計画

八代市文化振興計画

主な事業

厚生会館施設整備事業、文化センター施設整備事業、八代民俗伝統芸能伝承館（仮称）整備事業

文化施設利用者（厚生会館）



※千丁文化センターは、平成29年度から八代市公民館に移行